

令和元年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立中津川工業高等学校 学校番号 55

I 自己評価

1 学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・明朗で健康な心身を育成する。 ・自主創造性の伸長を図る。 ・誠実で勤労を愛する態度を養う。 ・自然を愛する豊かな心を育てる。 		
2 評価する領域・分野	◇工業		
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的知識が豊富であり、授業内容について信頼できる先生が多い。 ・インターンシップは、職場を知る良い機会である。 ・3年生で学習する課題研究は自分にとって有意義である。 ・本校の施設・設備は、学習環境の面で満足できない。 		
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇産業界・地域社会との連携した取組の推進 ◇基礎学力向上を目指した指導方法及び評価の研究と実践		
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・学校活性化委員会 ・地域連携委員会 ・課題研究委員会 ・学習委員会 ・資格検定委員会 ・広報委員会		
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標		
(1) 本校主催の工作教室や、外部団体と連携したイベント・コンテストへの積極的な取組 (2) マナトレの効果的利用による基礎学力の向上と学習習慣の定着 (3) 資格・検定の調査、研究、統計と受験指導	(1) イベントや工作教室への参加状況 (2) 基礎学力の向上と定着 (3) 資格・検定の取得状況		
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価	
<ul style="list-style-type: none"> ・テクノボランティアを継続的に実施する。 ・中津川市と連携した工作教室を実施する。 ・えなしこどもフェスタに参加。 ・地元中学校での出前授業を実施する。 ・各学科の課題研究発表会を実施する。 ・朝学習を活用した基礎力向上を実施する ・学科に対応した資格・検定に対する受検指導を行う。 	①イベントや工作教室への参加数およびアンケート等による満足度評価	Ⓐ B C D	
	②コンテスト等への参加数と結果	A Ⓑ C D	
	③マナトレ・小テスト等の結果	A Ⓑ C D	
	④取得した資格・検定の難易度と取得数	Ⓐ B C D	
11 成果・課題	○積極的に参加した各種のイベントで、本校の良さをPRすることができた。参加した生徒の対応の良さや専門性の高さが高評価であった。 ○地元の地域や企業と連携し、各種の行事が実施できた。 ▲就職が好調であるため、危機感を持たない生徒が少なくない。より一層の学力の定着度を向上させる必要がある。 ▲エアコン設置で満足度は上がったものの、施設設備の老朽化が著しく、学習環境に満足できない生徒・保護者は多い。改善に向けて要望を継続していく。 ▲どの行事・活動も大変意義のあることだが、多忙化の解消ができていない。		総合評価 A Ⓑ C D
12 来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の検討をし取捨選択や内容の改善をすすめつつも、テクノボランティアや工作教室などは継続し、さらに工夫したPRを行いたい。実習室等の防災・安全対策についてもすすめていきたい。 		

II 学校関係者評価

実施年月日：令和2年2月3日

【意見・要望・評価等】	<ul style="list-style-type: none"> ・課題研究発表会では、プレゼンの技術が不足していると感じた。事前指導もさらに必要であるし、いいプレゼンを見せる体験も必要ではないか。 ・就職が好調ではあるが、今後は不透明であるので、まずは生徒の学力を上げてほしい。 ・安全に配慮して実習等を行ってほしい。
--------------------	---

令和元年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立中津川工業高等学校

学校番号 55

I 自己評価

1	学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明朗で健康な心身を育成する。 ・ 自主創造性の伸長を図る。 ・ 誠実で勤労を愛する態度を養う。 ・ 自然を愛する豊かな心を育てる。 		
2	評価する領域・分野	◇教務		
3	現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<p>○学校経営・教育方針について、大多数の保護者から賛同を得られている反面、生徒からの評価が若干低い。</p> <p>○ホームページ等の情報発信は、生徒・保護者から好評だが「わからない」が24%あり、ネット環境の差が関係していると思われる。</p> <p>○学習指導に関して7割近くの生徒が指導方法を評価している。</p> <p>▲2割の生徒が相談事や教え方に対して満足していない。</p>		
4	今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的・基本的な内容を確実に身につけるため、1時間1時間の授業を重視した授業展開を行う。 ・ 生徒の興味・関心を喚起し、アクティブラーニングを取り入れるなど、主体的な学習態度の育成を図る。 ・ コミュニケーション能力の向上を重視した授業を展開し、自己表現能力の向上を図る。 		
5	重点目標を達成するための校内における組織体制	・ 教務部・学年会・工業科・普通科の連携		
6	目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標		
	<ul style="list-style-type: none"> (1) 基礎計算力向上のため、マナトレを実施。 (2) 数学、理科・英語・体育で分割授業を実施し、きめ細かな指導。 (3) 実習における体験的な活動と、レポート指導におけるコミュニケーション能力の向上。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 数学及び工業科目における計算能力の向上。 (2) 生徒・保護者アンケートによる評価及び生徒による授業評価。 (3) 課題研究等によるプレゼンテーション能力による評価。 		
8	取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各学科を主体にマナトレを実施。 ・ 数学、理科・英語・体育で分割授業の実施。 ・ 課題研究における主体的な活動と発表会の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎学力が向上したか。 ・ 分割授業の効果はあったか。 ・ 主体的に活動し発表できたか。 	<p>A (B) C D</p> <p>A (B) C D</p> <p>A (B) C D</p>	
11	成果・課題	<p>○生徒は、授業や学校行事を通して、社会人として必要な力を身に付けている。</p> <p>▲授業公開週間を部外者（中学校関係者）に開放したが、残念ながら参加者はいなかった。</p>		総合評価
				A (B) C D
12	来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・ 欠点保有者の早期解消指導。 		

II 学校関係者評価

実施年月日：令和2年2月3日

【意見・要望・評価等】

- ・ 子ども自体が少なくなっている現状では、工業高が単独として努力するだけでなく、中学生の公立志向をどのように醸成していくかが課題である。
- ・ 幅広い学力層の生徒がいることはわかるが、全体的に学力の底上げを期待したい。

令和元年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立中津川工業高等学校

学校番号

55

I 自己評価

1 学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明朗で健康な心身を育成する。 ・ 自主創造性の伸長を図る。 ・ 誠実で勤労を愛する態度を養う。 ・ 自然を愛する豊かな心を育てる。 		
2 評価する領域・分野	◇進路指導部		
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	○6割を超える高評価で、学年進行と共に意識が高まっていると思われる。 ▲「分からない」との回答も3割ほどある。		
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	・ 自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択できる能力や態度を育てる。		
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・ 学科・学年団（2・3年生）との連携		
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標		
(1) 生徒の発達段階に応じたキャリア教育の推進。 (2) 体験的学習、外部の教育力の活用。 (3) 家庭や地域社会との連携。	・ 生徒・保護者の満足度		
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ガイダンス、企業見学会の実施 ・ 行政機関との連携 	・ 進路実現者数	A (B) C D	
11 成果・課題	○2年生で地元企業合同説明会を実施し、地元企業を知る機会が増やせた。 ○地元で永住する若者を増やすため、行政との共通理解を深め、具体的行動の目途を立てることができた。 ▲就職において不合格者が例年に比べ多かった。		総合評価 A (B) C D
12 来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元企業就職や定住者の増加を図るため、行政とのタイアップを継続する。 ・ 就職試験に向けての対策を検討する。 		

II 学校関係者評価

実施年月日：令和2年2月3日

【意見・要望・評価等】

- ・ 今後も地域と連携した行事を多く企画してほしい。
- ・ 学校からも市内企業の情報を多く出すなど、地元企業に就職するように積極的に働きかけてほしい。地元からの工業高への期待は高い。

令和元年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立中津川工業高等学校

学校番号	55
------	----

I 自己評価

1 学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明朗で健康な心身を育成する。 ・ 自主創造性の伸長を図る。 ・ 誠実で勤労を愛する態度を養う。 ・ 自然を愛する豊かな心を育てる。 	
2 評価する領域・分野	◇生徒指導部	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	○マナー、モラル指導への評価が高い。 ○高校らしい頭髪服装指導への評価が高い。 ▲いじめの対応が生徒には理解されているが、保護者は「分からない」が4割近い。	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人権感覚を高め、いじめのない学校の実現に努める。 ・ 気持ちの良い挨拶ができ、地域社会に貢献できる生徒を育成する。 ・ 学習と学校行事、部活動を通して自己有用感を育成する。 ・ 情報モラル教育のさらなる充実を目指す。 ・ 個に応じた指導の充実を図る。 ・ 職員間の情報共有と職員間の連携強化を図る。 	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	生活指導、安全指導、教育相談、生徒会、部活動、いじめ防止等対策委員会、特別支援教育委員会、学年会、HR 担任、各科との連携	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 人権教育 (いじめアンケート実施を含む) (2) 登校指導 (挨拶・交通安全指導を含む) (3) 身だしなみ指導 (4) 教育相談週間を含む相談活動 (5) 情報モラル教育	(1) いじめアンケート結果分析、人権LHR等感想 (2) 自らすすんで挨拶ができたか。 交通マナーが守れているか。 (3) 自主的に身だしなみを整えたか。 (4) 面談で得た情報の共有ができたか。 (5) 情報モラル講話の実施、スマホマナー指導	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> ・ いじめアンケートの実施と活用 ・ あいさつ運動(校門指導) ・ 身だしなみ指導 	① 生徒が安全・安心して充実した学校生活を送ることができているか。 ② 全校生徒が主体的にあいさつできているか。 ③ 高校生としてのふさわしい服装か。	A ⓑ C D A ⓑ C D A ⓑ C D
11 成果・課題	○いじめの未然防止に努めたが、今年度は1年生のクラス内でいじめが起きた。しかしいじめ認知件数が3件と昨年度より減少した。 ○交通事故が1件のみであった。 ▲挨拶は多くの生徒ができているが、一部生徒は向上の余地がある。 ▲スマホの健康被害や学力に与える影響を講話内容に含んでいく必要がある。 ▲家庭状況が不安定なため、不登校傾向となってしまう生徒への対応。	
12 来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・ いじめ撲滅に向け、より一層の啓発。 ・ 情報モラル教育とスマホ依存による危険性の浸透。 	
総合評価 A ⓑ C D		

II 学校関係者評価

実施年月日：令和2年2月3日

【意見・要望・評価等】

- ・ あいさつがきちんとできる生徒が多く、好感が持てる。いじめへの対応も素早く適切である。
- ・ 部活動を頑張っている生徒が多く好結果も得られているが、更なる努力を期待したい。

令和元年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立中津川工業高等学校

学校番号 55

I 自己評価

1 学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明朗で健康な心身を育成する。 ・ 自主創造性の伸長を図る。 ・ 誠実で勤労を愛する態度を養う。 ・ 自然を愛する豊かな心を育てる。 														
2 評価する領域・分野	◇保健環境														
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ▲非常変災時における生徒・保護者への連絡確認方法(メール登録)が100%ではない。 ▲検診結果による要受診者の受信完了率が100%にならない。 														
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健…自発的に健康の保持・増進に取り組む生徒を育成する。 ・ 防災…自分の命を自ら守る意識付けと高揚を目指す。 ・ 環境…安全で清潔な学習環境の維持を目指す。 														
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	職員…学校保健委員会・安全衛生委員会・防災対策委員会 生徒…保健委員会 環境・防災委員会														
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標														
(1) 健康診断後の事後指導の徹底 (2) 命を守る訓練の充実 (3) 委員会・HR活動の美化活動の活発化 (4) 定期的な安全点検の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検診後の受診状況の結果 ・ 外部講師による評価 ・ 委員会活動実績やHR奉仕活動の実績 ・ 学校保健・衛生委員会の報告と助言 														
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価													
<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種健康診断の実施と事後報告 ・ 3回の命を守る訓練の実施と反省 ・ 保健委員会による日常点検 ・ HRの奉仕活動(通学路清掃)の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事後報告率 ・ 訓練の実施状況と講評 ・ 活動実績 ・ 学校評価アンケート 	<table border="0"> <tr> <td>A</td> <td>Ⓑ</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>Ⓑ</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>Ⓑ</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table>		A	Ⓑ	C	D	A	Ⓑ	C	D	A	Ⓑ	C	D
A	Ⓑ	C	D												
A	Ⓑ	C	D												
A	Ⓑ	C	D												
11 成果・課題	<p>【保健衛生】</p> <p>○4・5月に重なる各種検診が、予定通り実施できた。</p> <p>▲検診後の要受診者に対する指導徹底はできたが、受診率が100%ではない。</p> <p>【防災】</p> <p>○年間3回実施した命を守る訓練において、生徒の避難行動はとても良かった。</p> <p>▲命を守る訓練を年3回実施しているが、訓練のための訓練にならないよう、1回の訓練は、予告なしで実施したい。</p> <p>【環境美化】</p> <p>○各環境検査も予定通り実施でき改善することもできた。</p> <p>▲日常の安全点検はできたが、速やかな修理・修繕の対応に課題が残る。</p>		総合評価 A Ⓑ C D												
12 来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・ 熱中症や感染症の対策として、保健委員会を活発に活動させるとともに、部活動においても環境衛生面において注意喚起を行い、予防に努めたい。 ・ 命を守る訓練においては、自らの命を自ら守るという意識をもって真剣に取り組めるようにしたい。 														

II 学校関係者評価

実施年月日：令和2年2月13日

<p>【意見・要望・評価等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ AEDの設置場所において、休日でも自由に取り出せる場所へ設置したほうが良いのではないかとのことだったので、早速対応した。 ・ 夏の暑い時期の体育祭ではあったが、大きな事故もなく無事に実施できたので良かった。ただし、今後は時期について、やはり検討は必要であろう。
--

